

農業（技術）大学校等広域連携部会

[連携テーマ]: 農業（技術）大学校の魅力アップに繋がる広域連携の推進

■ 目指す姿

- 高度な技術や幅広い知識を習得できる環境の整備による魅力アップ
- 農業の担い手育成を加速化させるための5県連携の推進

■ 現状(データ)

県(場所)	募集 定員 (人)	コース(専攻)編成(修学期間2年)								入校者状況(H25年度)					卒業生状況(H24年度)				
		有機 農業	作物	野菜	花き	果樹	畜産		林業 (定員人)	<H25.4月入学>				在校生(人)/ 定員充足率 (%)	<H25.3月卒業>(人)				
							肉用牛	酪農		入学生 (人)	農家 (%)	非農家 (%)	うち県外 (人)		卒業数	就農者	うち 自営	雇用 就農他	就農率 (%)
鳥取(倉吉市)	30		○	○	○	○	○			25	36.0	64.0	8	48人/ 80.0	23	16	1	15	69.6
島根(大田市, 飯南町)	30	○		○	○	○	○		○ (10)	22	45.5	54.5	2	49人/ 81.7	32	16	2	14	50.0
岡山(赤磐市, 美咲町)	35			○	○	○	○			36	38.9	61.1	2	66人/ 94.3	31	13	2	11	41.9
広島(庄原市)	40			○	○	○	○			32	56.3	43.7	2	68人/ 85.0	30	20	2	18	66.7
山口(防府市)	40			○	○	○	○	○		27	22.2	77.8	0	53人/ 66.3	19	10	2	8	52.6

※【平成25年度全国農業大学校等の概要(全国農業大学校協議会平成25年10月発行)】より抜粋
※島根県の入学者状況及び卒業生状況は、農業科のみ(林業科を除く)のデータ

■ 目標設定

○ワーキング会議の設置

○相互連携の実施

○連携のあり方検討

■ 取組方針

相互連携が円滑にできる体制整備

単位互換を含めた県外学生受入, 県外就農への支援
モデル研修「機械整備研修(短期集中)」の実施(広島県, H26)

相互連携の実績検証を踏まえた検討

農業（技術）大学校等広域連携部会

■連携によるメリット

○教育水準の向上

- ・機械、設備等の充実やより専門的な外部講師の招聘などが効率的に実施できる
- ・指導教員の人事交流等により講義・演習などの資質向上が期待できる

○進路選択肢の広がり

- ・非農家出身学生の出身県以外への就農や雇用就農の促進が期待できる

○人脈の広がり

- ・中国地域や全国からの学友が将来の経営上の利点に発展する人脈に繋がる

■検討すべき課題

○自然・社会条件、振興品目等が各県間で乖離している現状での連携活動のあり方

○他県での修学に伴う移動や宿泊など学生経費負担増加への支援

○科目構成や1コマ単位数などカリキュラムに互換性を持たせる工夫

■参考（H25年度連携活動実績 抜粋）

○「農業高校・大学校合同フォーラム（広島県）」：参加人数74名（広島県を除く学生，教員計）

- ・事後学生アンケート：発表した高校生の就農意欲の高さや講演内容に刺激を受けた

○農家派遣研修の相互受入実績

- ・鳥取県⇒広島県 4名
- ・鳥取県⇒岡山県 1名